

全之の学友諸君へ

3回にわたる講座を踏まえ

本4回土木自主講座に結集せん

全之の学友諸君へ、この向う3回にわたり土木自主講座を大嘗当屆のレソノ子な弾圧策動に苦屈せず、土木科の学友のみならずあらゆる学科、他大学の学友の圧倒的な数をも、こ結集せしめ、断乎と断

第4回土木自主講座

催したところの土木自主講座実行委員会は、更らに來たるら日2日火あつて時分多し記堂にて記師に東京大学河川研究会曾村忠氏を招き本4回土木自主講座を閉催したし、為元ます。

この向う3回記座において、本1回・災害にあらはれに技術者の問題、本2回・近代科学技術の意味、本3回・技術者のたてかしの志向をたぐる」と一貫して資本主義社会における技術者の内包するところの矛盾、之く之れに對するこれからの技術者の斗しの云何性と言ふものがある程度語られ來たと思ひますが、之の總括を之れを踏きえる中から今回の本4回土木自主講座にのみ、みたく考へます。また今回は記師を湯浅氏から曾村氏に受任せしめ、たゞ「若山治水と言ふテーマで、行ない、断乎とくた大衆の結集を、大嘗当屆の弾圧策動を一切許すことなく貫徹した」と考へます。

全之の学友諸君へ、この向うの記座を進展りばし単なる記座とくま終らせるのではなく、僕たち技術者とくま斗う、また一個の人向とくま斗う契機にくち此にあらなし。

全之の学友諸君へ、自らと斗う技術者、人向とくま相闘せらる。

日曜日・火あつ・五時半・本記堂にて

記師・東京大学河川研究会・曾村忠氏

テーマ・『若山治水』(砂防工事・植林事業等の社会資本の現場における現狀)

主催・土木自主講座実行委員会